

中学校第1学年英語科学習指導案

期 日：令和3年11月12日

時 間：第5校時

対 象：第1学年B組26名

学校名：私立清心中学校

授業者：植木 彩香

1 単元（題材）名

「英語タウンガイドで道案内をしよう」

2 単元（題材）の目標

- (1) 設定を正しく理解し、案内をする相手や場面の要望を整理し、適した道順を道案内の表現を含む英文を用いて相手に伝える。
- (2) 調べた内容を整理し英語のタウンガイドを作成したり、英語で情報を正しく読み取ったりする。
- (3) 自らが知っている語句や表現を活用し、最後まで粘り強く取り組む。

3 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「道順をたずねる」「道順を説明する」表現の意味や働きを理解している。 ・自分たちの町のタウンガイドの情報を正しく読み取る。	・条件を整理し、読み取った情報を活用しながら、相手に応じた道順を説明する。	・自らが知っている語句や文を用いて、積極的に活動に取り組む。

4 指導観

(1)単元（題材）観

本単元では、NEW CROWN Lesson6 Project 2「英語のタウンガイドを作ろう」を活かし、Take Action! Talk4「ABC ケーキはどこですか」で学んだ道案内の表現を練習して習得することを目的とする。前の単元で作成した倉敷美観地区の説明文を地図に配置し、各クラスで作成したタウンガイドを読み、情報を整理することでReading力を伸ばす。そのうえで倉敷美観地区のボランティアガイドという設定で道案内の表現(Go straight, turn left/right, on your left/right など)を活用する場面を設定する。身近な町である倉敷美観地区と関連させた題材を通して、理解を深めさせ、定着を図りたい。

(2)教材観

Chromebookを活用し、本単元までに倉敷美観地区の英語のタウンガイドを作成している。クラスごとに異なる独自のタウンガイドを共有し、その内容をふまえた道順を相手の要望に合わせて考えられるよう活用したい。現実味のある場面設定において英語を活用することで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

(3)生徒観

本学級の生徒は、英語を苦手と感じている生徒も含め授業に積極的に取り組む姿勢が見られる。間違っても恐れず授業に参加し、英語学習への高いモチベーションを維持している。比較的多くの生徒がリスニングを得意とするが、実際に文を作り発言したり、読み書きをしたりすることは苦手である。Chromebookの活用や、友人とやりとりなど、活動を通して英語を学ぶことを楽しむ傾向が強い。

5 年間指導計画における位置付け ※本単元の学習内容に関連すると考えられる学習内容

学年	第1学年	第2学年	第3学年
単元(題材)名	・ Take Action! Talk4 ・ Reading for Information 2	・ Reading for Information1/2 ・ Lesson 3/4 ・ Project 2	・ Take Action! Listen/Talk 2
主な内容	・ 道案内の表現を学ぶ。 ・ 身近な町の魅力を調べて、必要な情報を読み取り、互いに紹介する。	・ 自分が必要とする情報を読み取る。 ・ 町紹介のスピーチをする。 ・ ガイドブックの要点を把握し、まとめる。 ・ 修学旅行の計画を提案する。	・ 修学旅行の行き先やルートについて話し合う。

6 単元(題材)の指導計画と評価計画(全4時間扱い)

時	★目標 ○学習内容 ・学習活動	■評価規準(評価方法)
第1時	★道案内に必要な表現の意味や働きを理解し、それを含む英文を活用できるようになる。	
	○「道順をたずねる」「道順を説明する」表現を知る。 ・ 中庄駅から学校までの道のりを、地図を見ながら考える。 ・ Skitの動画でイメージを掴み、読み方や意味を確認する。 ○上記の表現を練習する。 ・ Skitの語句を変えながら様々な文章を作り、会話をする。 ・ 読み上げられる道案内の行き先の場所を聞き取る。	■知識・技能 表現の意味や働きを理解し、活用する。 ■主体的に学習に取り組む態度 自らが知っている語句や表現を活用し、最後まで粘り強く取り組む。 (ワークシート・観察)
第2時	★おすすめの場所を提案する観光マップを読んで、必要な情報を捉える。	
	○観光マップに使われる表現を知る。 ・ 教科書の地図などから情報を読み取る。 ・ 使われている表現の読み方や意味を確認する。 ○観光客に合わせたおすすめをする。 ・ 提示された条件に適する情報を読み取り、案内する。	■思考・判断・表現 必要な情報を捉え、条件に合わせて選び、説明している。 ■主体的に学習に取り組む態度 必要な情報を捉えようとする意欲が見受けられる。(ワークシート・観察)
第3時	★英語のタウンガイドを作り、自分の町の魅力を伝える。	
	○タウンガイドに使われる表現を知る。 ・ 教科書のタウンガイドから情報を読み取る。 ○美観地区のタウンガイドを作成する。 ・ Chromebookでグループごとに情報を調べ、まとめる。	■思考・判断・表現 情報から重要な点を読み取りまとめる。 ■主体的に学習に取り組む態度 グループで協力して意欲的に調べ、まとめている。(ドキュメント・観察)
第4時(本時)	★条件に合わせた案内をする。	
	○タウンガイドの情報を理解する。 ・ 互いが作ったタウンガイドから情報を読み取る。 ○提示された条件に合わせて観光地を案内する。 ・ グループごとに準備された条件に応じた案内を考える。 ・ 代表者が Chromebookの画面を見せながら発表する。	■思考・判断・表現 まとまりのある文章を書いて、発表の準備ができています。 ■主体的に学習に取り組む態度 意見を出し合い、よりよいルートを提示して発表ができています。(ワークシート・観察)

7 指導に当たって

(1)ラテラルシンキング

英語タウンガイドの情報を分析し、多角的な視点で様々な可能性を考える。

(2)クリティカルシンキング

自分の考えたルート以外に、グループ内で意見を客観的に比較し、よりよいルートや理由を導き出す。

(3)ロジカルシンキング

ルートがいかにか条件に適しているか理由を論理的にまとめる。

8 本時（全4時間中の4時間目）

(1)本時の目標

○案内をする相手や場面の要望を整理し、適した道順を道案内の表現を含む英文を用いて相手に伝える。

・自らが知っている語句や表現を活用し、最後まで粘り強く取り組む。

(2)本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	・指導上の留意点	■評価規準（評価方法）
導入	○Question and Chat ・「おすすめの観光地」を紹介する。 ・相手の意見に対して応答する。	・机間指導で、個別に発音や言い回しなどについて、ヒントを出すなど支援する。	■主体的に学習に取り組む態度 積極的にコミュニケーションを取ろうと心がけているか。（観察）
展開	○英語タウンガイドを活用した道案内をする ・ガイドの写真を見て、活動の設定を理解する。 ・例を聞いて、発表の仕方を考える。 ・条件に合わせた道順・理由をグループで相談する。→原稿にまとめる。 ・黒板(スクリーン)前で発表をする。（グループの代表） ・地図でルートを確認する。（代表以外の生徒）	・目的や設定の理解に向けて、生徒が主体的に取り組めるよう意識付けを行う。 ・グループ内で意見を出し合っているか確認する。 ・発表者の発音や文の構造、他の生徒の活動の様子を確認する。	■知識・技能 正しく道案内の表現を活用できているか。 ■思考・判断・表現 英語タウンガイドから条件に合う情報を選び取り、まとまりのある文章にまとめられているか。 ■主体的に学習に取り組む態度 積極的に活動に参加しているか。（ワークシート・観察）
まとめ	○まとめ+課題の連絡をする ・英語の表現をまとめる。 ・次の授業までの課題を連絡する。（生徒：メモを取り、次回に備える。）	・授業内で生徒の間違いが多かった表現や発音などを、改めて伝達する。	

(3)板書計画 ※パワーポイントを使用

【Your favorite sightseeing spot】 ※Question and Chat のサポート文
My favorite place is ～. It is a [施設名(寺、神社、テーマパークなど)].
I like [その施設で自分の好きなおとこ(観光地、食べもの、特徴など)].

川上拓土くん(小学生美観地区英語ガイド)の写真

→英語のガイドとして最適なルート案内をする目的を理解させる